

2022年7月13日

各 位

日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合

日本インパクト投資 2 号ファンドによる株式会社助太刀への投資実行について

日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合(以下、「はたらく FUND」)は、株式会社助太刀(東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO 我妻 陽一、以下「助太刀」)が実施する第三者割当増資を引き受けました。

助太刀は、「建設現場を魅力ある職場に。」をミッションに掲げ、建設技能労働者(以下「職人」)の人材不足を「事業者間マッチング」と「採用」から解消すべく、建設業界に特化したプラットフォーム事業を提供しています。

「はたらく FUND」は、新生銀行グループである新生企業投資株式会社が国内の子育て関連事業へのインパクト投資^{※1}を行うため、2017年1月に邦銀グループが運営する初のインパクト投資ファンドとして設立した日本インパクト投資 1 号ファンド(通称「子育て支援ファンド」)の後継ファンドです。新生銀行グループに加え、一般財団法人社会変革推進財団を共同運営者、株式会社みずほ銀行をアドバイザーに迎え、多数の機関投資家さまにご出資いただいて運営しております。「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とし、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を目指しています。

建設業界は社会のインフラ整備、安全・安心の確保を担う社会的役割の大きい業界です。しかしながら他業界と比較しても顕著に高齢化が進行しており、建設業を支える人材の確保・育成が喫緊の課題となっています。国土交通省を中心に職人の処遇改善のための施策が官民一体となって講じられる中、助太刀も政府の取り組みとの連携を進めています。はたらく FUND は、助太刀の事業を通じて職人の処遇が改善されより柔軟な働き方が進むことで、業界の人手不足軽減にも繋がるものと期待しています。助太刀は多様なキャリアモデルの創出とその認知拡大に努めるとともに、これらの事例を業界内の制度や官民連携の施策にも波及させています。事業を通じて一人でも多くの職人が望む働き方を実現した上で、建設業界全体における人材の安定的確保の実現も目指していることから、はたらく FUND が目指す理念「多様な働き方・生き方の創造」に沿っていると判断し、今般のインパクト投資を実行しました。また投資検討段階から、助太刀の事業が社会に与えるインパクトを測定・可視化し、その結果を経営や事業プロセスの改善に活かす「インパクト測定・マネジメント」^{※2}の導入について経営陣と議論を重ねてきました。出資実行後も、社会的価値の創出と経済的価値の最大化の両面から助太刀をサポートすることで、インパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進して参ります。

※1 経済的なりターンと社会的なりターンの両立を目指す投資。 ※2 社会的インパクト評価を経営のPDCAサイクルに取り込み、マネジメントに活かすこと。

【株式会社助太刀の概要】

名称 : 株式会社助太刀
設立日 : 2017年3月
代表者 : 代表取締役社長兼 CEO 我妻 陽一
本社所在地 : 東京都渋谷区南平台町 2-17 日交南平台ビル 5F
事業内容 : 建設業界に特化したプラットフォーム事業

【はたらく FUND の概要】

名称 : 日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合(通称、「はたらく FUND」)
設立日 : 2019年6月28日
無限責任組合員 : 日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合
無限責任組合員 : 新生インパクト投資株式会社
組合員 : 一般財団法人社会変革推進財団
アドバイザー : 株式会社みずほ銀行
期間 : 投資期間 5 年、組合期間 10 年
投資対象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイターステージ企業
URL : <https://hatarakufund.com>

以上